学校教育評価表 （小・中学校）

学校名　大津市立　真野中　学校

評価の基準 （ 3:よくできた　2:できた　1:あまりできなかった　0:まったくできなかった ）

項　目		評 価 の 観 点	自己評価（3・2・1・0）	学校関係者評価（3・2・1・0）	関連するSDGsの目標（参考）
主体的・対話的で深い学び	1	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	3	3	4
	2	協働する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善（ICTの活用含む）	3		
	3	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会の実施	3		
道徳教育の充実	4	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	2	2	4 5 10 16
	5	ものごとを様々な視点からとらえ考えさせる道徳科の授業・評価に関する研究	2		
	6	保護者等への道徳科の授業公開	3		
体力づくり	7	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	3	3	3 4
	8	体力づくりを推進する運動実践	2		
	9	生涯にわたって健康を保持増進し、進んで体を動かそうとする意欲の育成	3		
指導改善（組織的・計画的）	10	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	3	3	4 8
	11	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	3		
	12	働き方改革の取組と教育活動の質の改善	3		
育ちと学びを支える連　携					
① 家庭・地域との連携・協働	13	子育てや家庭教育に対する 保護者への積極的な支援	3	3	4 8 11 17
	14	保護者・地域との交流や情報発信、参観、 懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	2		
	15	防災教育・感染症対策等の推進を含む、地域の実態に応じた安心・安全な学校づくり	3		
② 保幼小中の連　携	16	子どもの校種間交流や教員の出前授業	2	2	4
	17	校種間の授業公開や合同研修会	2		
	18	保幼小中の接続期の教育課程編成等、円滑な接続を図る校種間のカリキュラム研究	2		
組織的体制の充　実					
① 生徒指導体制の充　実	19	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導　※	3	3	4 11 17
	20	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進　※	3		
	21	家庭・地域・関係機関との連携による指導	3		
② 特別支援教育の充　実	22	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	3	3	3 4 17
	23	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	3		
	24	関係機関と連携した相談体制の充実	3		

※　特にいじめについては、学校基本方針の評価と関連させて行うこと

	学校満足度	25	児童生徒の学校満足度	3	3

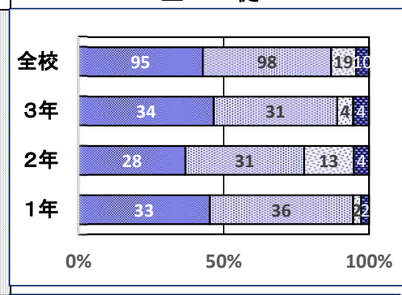
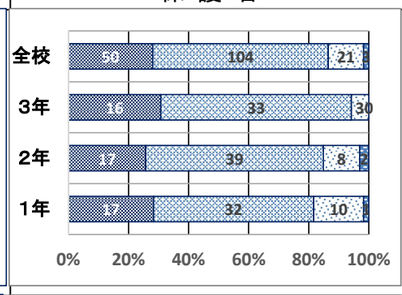
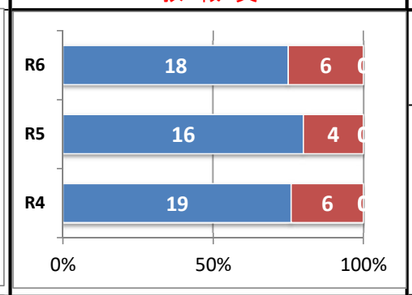
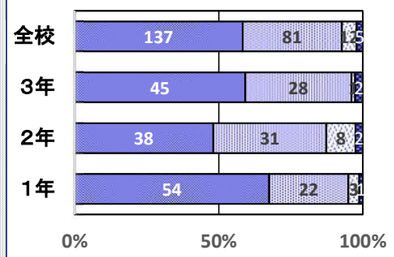
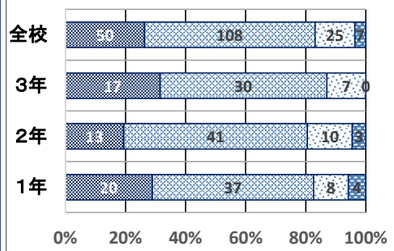
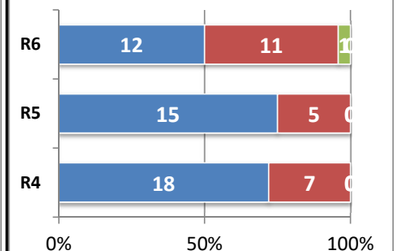
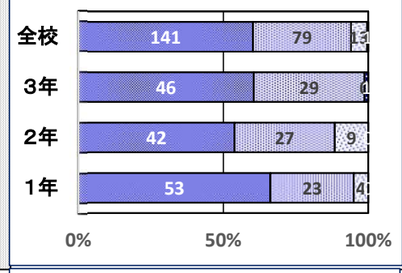
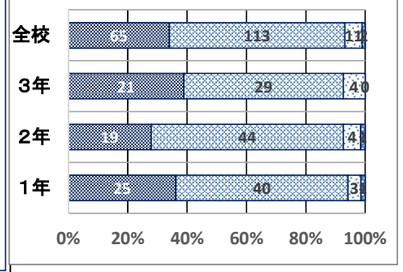
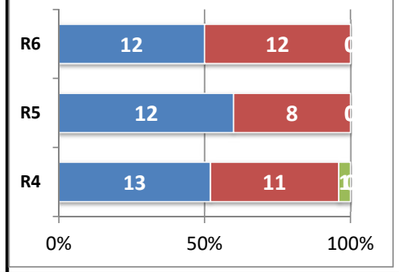
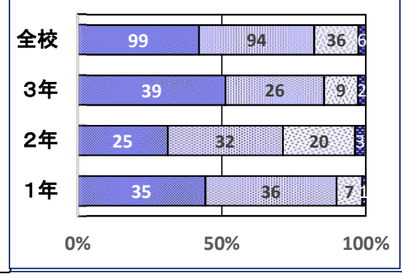
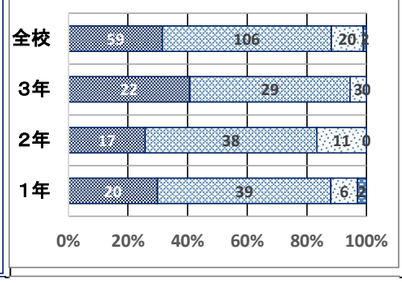
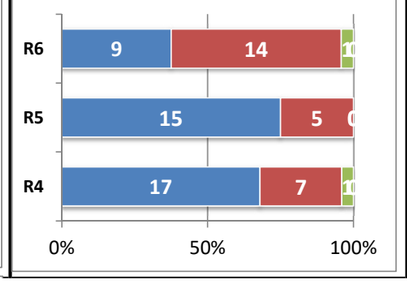
※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値（3点満点、小数第2位まで記入）	2.41
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値（3点満点、小数第2位まで記入）	2.33

＊各校の学校評価書から上記の1～25の観点にかかる自己評価および学校関係者評価結果を取り出し、本表に移記ください。
＊評価の項目と関連があると考えられるSDGsの目標を参考として表示しています。

令和６〔２０２４〕年度

学 校 評 価 書

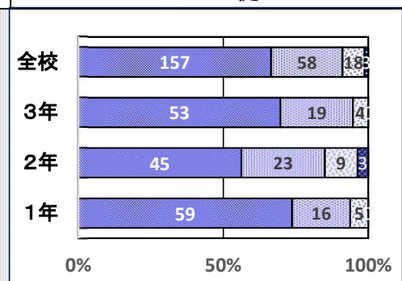
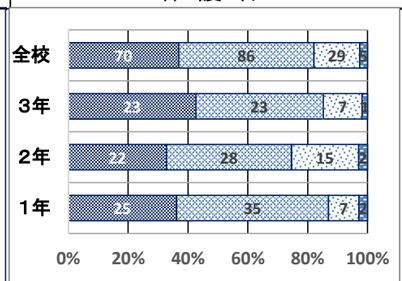
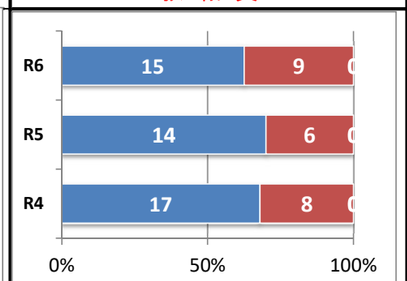
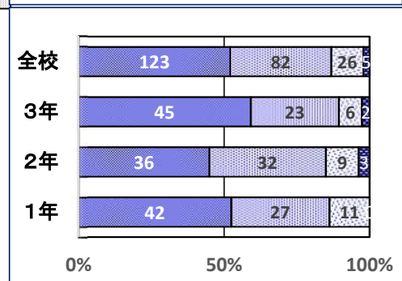
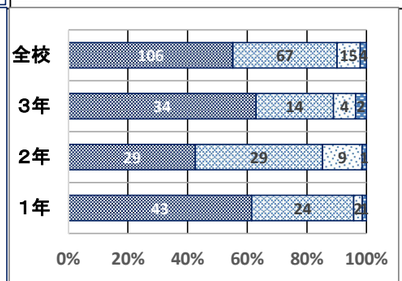
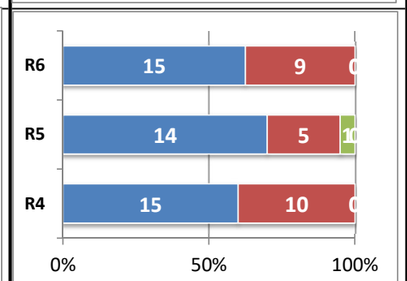
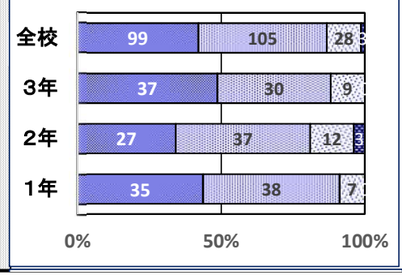
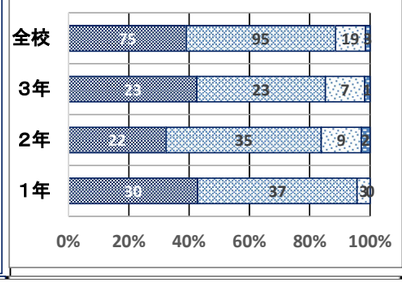
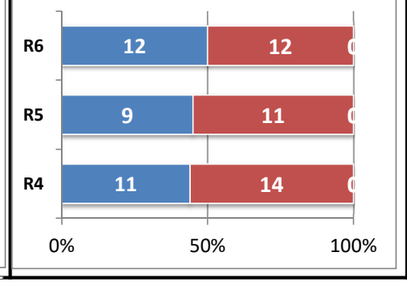
大津市立真野中学校

項目			評価の観点 ※網掛けの項目は、大津市共通項目	市教委学校評価表との関連	アンケート データ【左】① そう思う ② どちらかというとそう思う ③ どちらかというとそう思わない ④ そう思わない【右】 生徒	保護者	自己評価 教職員	評価	本年度の取組と分析	学校関係者評価 意見・提言等	今後の改善に向けて
豊かな心を育む教育	1 生徒指導	生徒	先生は、いじめや暴力行為等の問題に対して素早く対応している。	生徒指導体制の充実				A 【R5】3.80 ↓ 【R6】3.70	◆いじめ等、生徒指導上の課題の対応においては、事案把握後、速やかに対策会議を開き、初期対応から組織対応を心がけ、解決に向けて丁寧に取り組んだ。また、事案の解消に向けて、継続して見守りや指導を行い、安心、安全な学校づくりに努めた。 ◆情報モラル教育として、「GIGAワークブックおおつ」の活用や専門家を講師に招いて、SNSの危険性や正しい使い方について考える機会を持ち、未然防止に努めた。 ◆いじめ等、生徒の悩みを早期にキャッチするために、毎日の生活ノートの点検や、定期的なアンケート等を実施し、子どもの声を拾える体制づくりに努めた。	A 昨今話題になっている事件等が若年化していることに懸念している。学校での教育をしっかりやっていってほしい。	☆いじめ等、生徒指導上の問題に対する早期発見・早期対応のために、組織的な対応を実践する。 ☆地域・家庭と連携し、子どもたちに寄り添い、粘り強い指導を大切にしていく。
		保護者	先生は、いじめや暴力行為等の問題に対して素早く適切に対応している。								
		教職員	いじめや暴力行為等の問題に、素早く、毅然とした態度で対応している。								
	2 道徳・人権教育	生徒	学校で、命の大切さや思いやりの気持ち、社会のルールについての指導をうけている。	道徳教育の充実				B 【R5】3.75 ↓ 【R6】3.40	◆各学年道徳教育担当者が中心となり、学年生徒の実態に即した教材の選定・開発に取り組み、心を育む教育活動を展開した。タブレット端末を活用した授業では、自分の意見をしっかり出してグループで交流ができた。 ◆「道徳」授業参観を実施し、保護者とともに学校運営協議会のメンバーも授業を公開した。(10月31日) ◆12月の真野中人権週間に合わせ、全学年で人権学習を実施した。1年生では外部講師を招き、「視覚に障がいのある人」について、2年生では男女協働参画社会について、3年生では助産師による「命の学習」について、各学年ともに生命・人権尊重・多様性等についての学習を深めた。	B 近年、子どもの命に関わる重大な事件が多発している。命の大切さを大切にすることを深く理解させるは、難しい現状なのかと危惧している。	☆生徒の実態に即した教材を選択して道徳科の授業を充実させるとともに、教育活動全体を通じて道徳教育を推進する。 ☆外部講師を招聘するなどして、人権教育を工夫・改善に努める。
		保護者	学校で、命の大切さや思いやりの気持ち、社会のルールについて適切な指導をしている。								
		教職員	命の大切さや思いやりの気持ち、社会のルールについて適切な指導ができている。								
	3 体験活動	生徒	学校は、いろいろな学習、体験活動を通して、友達と協働しながら活動を進めるすばらしさや、自主性や表現力を育てようとしていると思う。	協働的な学び				A 【R5】3.60 ↓ 【R6】3.55	◆ふるさと体験学習・校外学習・修学旅行・職場体験学習等を実施した。校外での体験活動に、生徒は意欲的に取り組むことができた。 ◆活動の終盤におけるふりかえりでは、学年内で留まらず、異学年間や事業所の方にも聴視できる機会を設け、今後の学習活動においての意欲につながった。	A —	☆学年内だけの実践に終わらず、学年を超えた活動の発表を通して、生徒の意欲向上につなげる。 ☆中学校3年間だけでなく、同学区内9年間の系統性をふまえた教育活動を実践する。
		保護者	学校は、いろいろな学習、体験活動を通して協働する体験、自主性や表現力、豊かな心を育てようと努めている。								
		教職員	いろいろな学習、体験活動を通して協働する体験、自主性や表現力、豊かな心を育てようと努めている。								
	4 教育相談	生徒	勉強や進路、友だちのことなどについて気軽に先生に相談できる。					B 【R5】3.75 ↓ 【R6】3.30	◆学期ごとに教育相談旬間を設定し、学級担任を中心に学級生徒全員との相談機会を設け、生徒と向き合う時間を大切にした。また、日頃から生徒とコミュニケーションを積極的にとり、気軽に話せる関係の構築に努めた。日程の設定に工夫がいる。 ◆毎日の生活ノートのやりとりや定期的なアンケートを通して、生徒の悩みに気づき、早期にアプローチできるように取り組んだ。また、必要に応じてスクールカウンセラーなどの専門家につなげた。 ☆教室での活動が難しい生徒を対象に、「ほっとルーム」部屋を開設し、順調に運用している。今後の運用に対し次年度に向けて課題等を整理する。	B —	☆教育相談の充実のために、時間の確保に努める。また、SCや各関係機関との協働・連携を行う。 ☆ほっとルームを継続的に発展させるために、運用の仕方等を整理する。
		保護者	学校は、勉強や進路、友だちのことなどについて、子どもの相談に気軽に応じている。								
		教職員	勉強や進路、友だちのことなどについての生徒の相談に快く応じ、適切なアドバイスができている。								

令和６〔２０２４〕年度

学 校 評 価 書

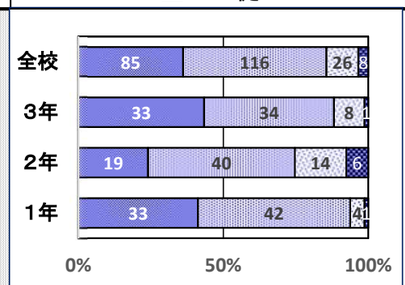
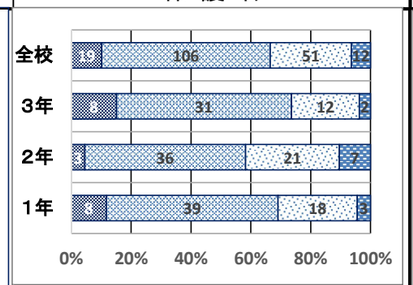
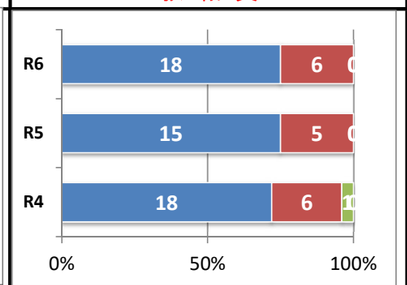
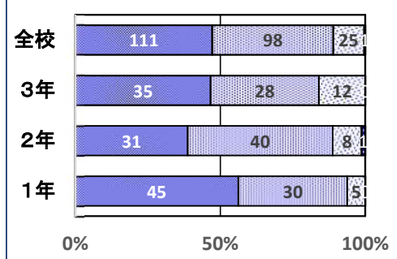
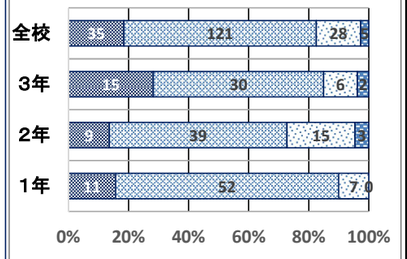
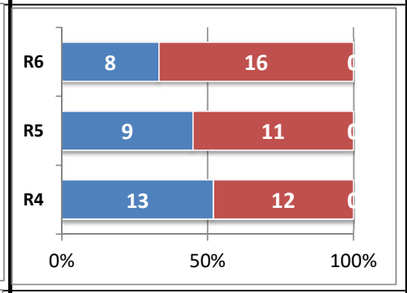
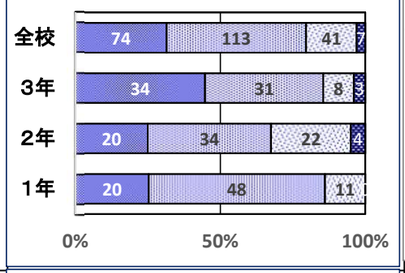
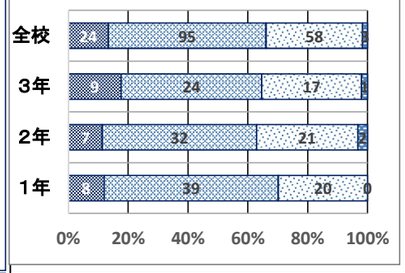
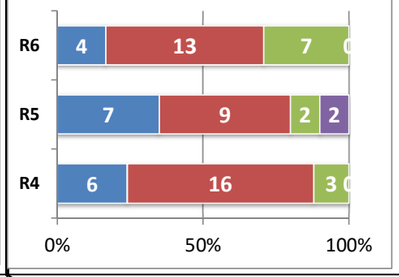
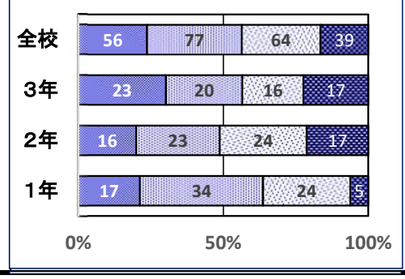
大津市立真野中学校

項目			評価の観点 ※網掛けの項目は、大津市共通項目	市教委学校評価表との関連	アンケート データ 【左】① そう思う ② どちらかというとそう思う ③ どちらかというとそう思わない ④ そう思わない【右】 生徒	保護者	教職員	自己評価 評価	本年度の取組と分析	学校関係者評価 意見・提言等	今後の改善に向けて
豊かな心を育む教育	5 学校満足度	生徒	**全般的には、楽しく学校生活を送っている。**	学校満足度				A 【R5】3.70 ↓ 【R6】3.60	◆生徒に対する質問項目「楽しく学校生活を送っている」に対する肯定的な評価(そう思う･どちらかといえばそう思う)は、どの学年も85%を超え、全校生徒の91%が肯定的に回答している。保護者においては、肯定意見は81%である。 ◆3か年の経年変化を見ると、学年が上がるほど肯定意見が高まる傾向があり、教育活動に対する理解が進んでいくと考えられる。 ☆今後は、否定的な回答をした生徒の要因を探り、生徒との良好な関係を築きながら、きめ細かな指導に力を注ぎ、より魅力ある学校づくりを行っていく必要がある。	A ――	☆生徒一人ひとりに寄り添う教育活動を実践する。また、「楽しくない」と回答している生徒に対し、良好な関係を築きながら、きめ細かな指導にあたる。
		保護者	**子どもは、学校生活におおむね満足している。**								
		教職員	**生徒が楽しく、いきいきと学校生活を送ることができるように学校、学年、学級経営等を進めている。**								
	6 特別活動	生徒	体育大会や文化祭等の学校行事、生徒会活動、学級会活動に積極的に参加している。					A 【R5】3.65 ↓ 【R6】3.65	◆真野フェスタ(文化の部･体育の部)の取組を通して、学級･学年への所属感を高め、団結･協力を深めることができた。 ◆生徒会や学年行事の実行委員会等、生徒が主体になり企画･運営する機会を設けることが、生徒自身の参加意欲、達成感につながっていると考えられる。	A ――	☆生徒の達成感･満足感につながる取組を推進する。 ☆自治能力の育成に向けて、生徒会や諸行事の実行委員会活動の活動を支援する。
		保護者	子どもは、体育大会や文化祭等の学校行事、生徒会活動、学級会活動などに積極的に参加していると思う。								
		教職員	体育大会や文化祭等の学校行事、生徒会活動、学級会活動に生徒が積極的に参加できるように工夫している。								
	7 体力づくり	生徒	**規律正しい日常生活を送り、健康と体力の保持･増進に努めている。**	体力づくり				A 【R5】3.45 ↓ 【R6】3.45	◆学校保健の立場から、養護教諭が発行する「保健だより」により、健康についての情報発信をこまめに行った。 ◆学校保健委員会と連携し、大学の教授を講師に迎えて、体づくり講座を開催した。 ◆体力作りについては、部活動や体育の授業に熱心に取り組んだ。昼休みには生徒会によるボールの貸し出しを利用し、多くの生徒がグラウンドに出て元気に活動する姿が見られた。また、駅伝メンバーに多くの生徒が立候補し、放課後の練習にチーム一丸となって熱心に取り組み、男子チームは県大会出場を果たす活躍が見られた。	A 校内だけでなく、学校外でも子どもたちが評価される機会があることで、子どもたちの自身や意欲の向上につながると思う。	☆健康･安全への注意喚起を行うとともに、事故等の未然防止に向けての情報発信を行う。 ☆生徒の自主的な活動による部活動の活性化に向けて支援する。
		保護者	**子どもは、節度ある日常生活を送り、健康と体力の保持･増進に努めている。**								
		教職員	**節度ある日常生活をおくり、健康と体力の保持･増進に生徒が努めるよう心がけている。**								

令和６〔２０２４〕年度

学 校 評 価 書

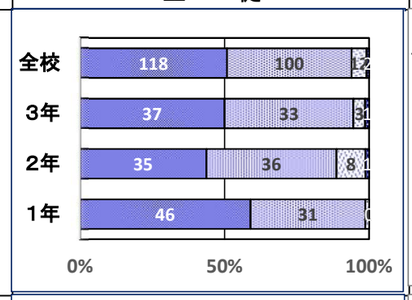
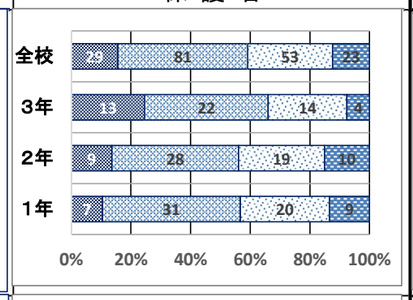
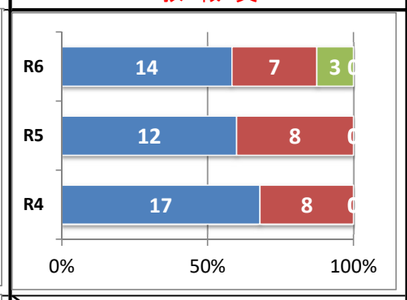
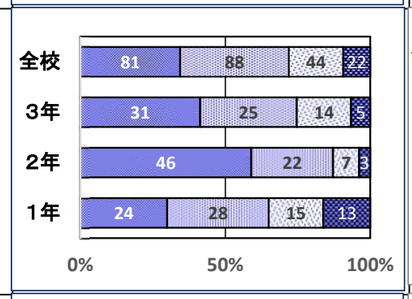
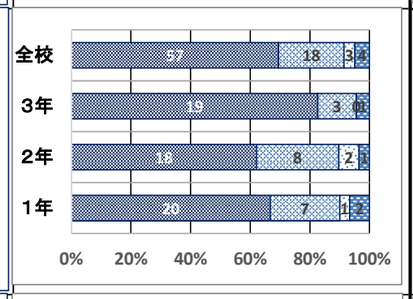
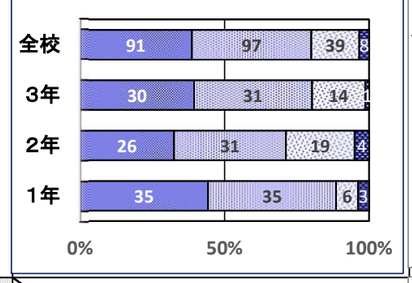
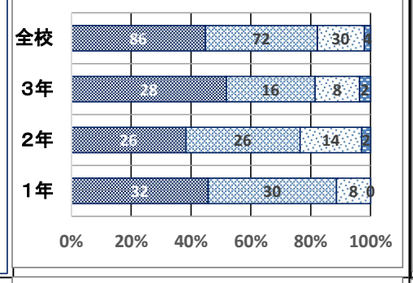
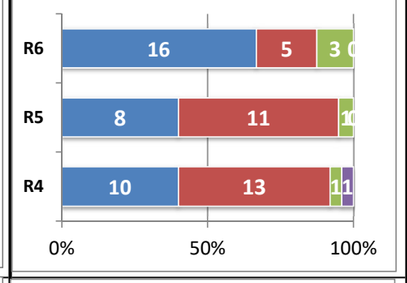
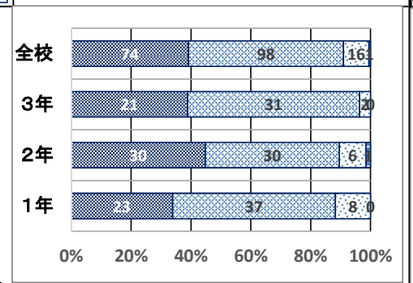
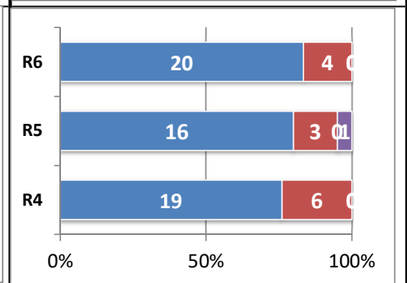
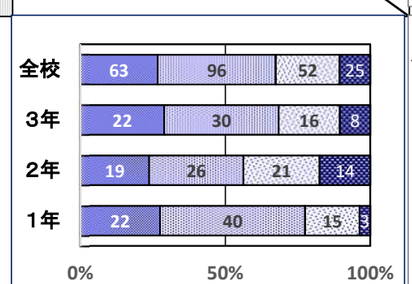
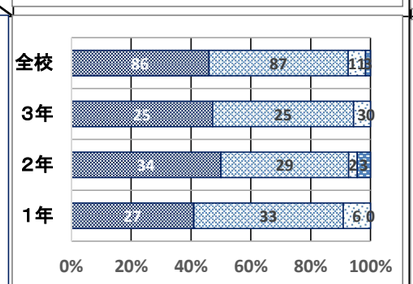
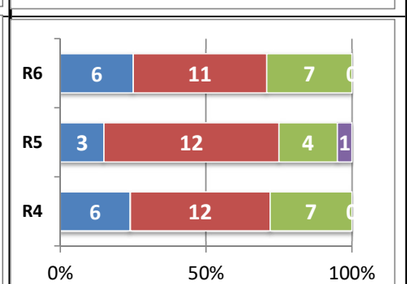
大津市立真野中学校

項目			評価の観点 ※網掛けの項目は、大津市共通項目	市教委学校評価表との関連	アンケート データ 【左】① そう思う ② どちらかというとそう思う ③ どちらかというとそう思わない ④ そう思わない【右】 生徒	保護者	自己評価 教職員	評価	本年度の取組と分析	学校関係者評価 意見・提言等	今後の改善に向けて
学力向上に向けた取り組み	8 学習指導	生徒	**全般的には、学校の授業は、わかりやすい。**	指導改善				A 【R5】3.75 ↓ 【R6】3.90	◆「学校の授業はわかりやすい」と肯定的に回答した生徒は88%で、学年が上がるごとに数値が高くなる傾向がある。一方、保護者のアンケートでは70%を下回る結果であった。 ◆校内研究では、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、授業改善に取り組んでいる。相互の授業参観や先進校視察を通して、教員の授業を見る目をなお一層磨き、さらに「わかりやすい授業」づくりに努めたい。また、保護者の理解を広げるために、授業参観や情報発信を積極的に進めていきたい。	A ――	☆教員の教科指導力の向上を目指すために、校内研究や研修の充実を図る。 ☆保護者の理解を広げるために、授業参観や情報発信を強化する。
		保護者	**子どもは、全般的に学校の授業がわかりやすいと言っている。**								
		教職員	**わかりやすく意欲的に生徒が授業に取り組むための工夫をしている。**								
	9 評価	生徒	通知票を見れば、自分の学習の状況がよくわかり、評価には納得できる。					B 【R5】3.45 ↓ 【R6】3.30	◆新しい学力観にもとづく「学習評価」について、教職員が指導と評価の一体化を意識し、適切な評価について研修を進めている。 ◆通知表(学習評価)に対する生徒・保護者の否定的な見方は少なかった。 ☆通知表には、定期テストの点数だけでなく日々の主体的に学ぶ態度や課題に取り組んだ内容が反映されていることの周知が不十分である。次年度も年度当初に各教科でシラバスを作成し、懇談会等を通して生徒の様子を伝える等、保護者に周知できるように情報を提供していく。	B 次年度の入試制度の変更について、分からないことが多すぎる。	☆全教科、年度初めにシラバス（学習内容の年間計画、評価の仕方等）を次年度も配付し、周知する。また、保護者への周知も視野に入れ、作成を工夫していく。 ☆指導と評価の一体化を意識し、今後も授業改善に努める。
		保護者	通知票では、子どもの学習の状況が適切に評価され、学習状況や学校生活がよく分かる。								
		教職員	生徒の学習の状況を通知票等を通して、生徒や保護者がわかりやすく、納得いくように評価できている。								
	10 学習習慣	生徒	宿題や課題をしっかりやるなど、家庭学習の習慣が身についている。					B 【R5】3.05 ↓ 【R6】2.80	◆全国学力・学習状況調査（3年生）からは、家庭で宿題や予習・復習を計画的・自主的に進められない生徒は少なくない。その一因として、スマホやゲームを利用する機会が多く、家庭での学習時間を確保できていない現状がある。テスト前の補充教室（まのまるっと教室）等をきっかけに、主体的に学習に取り組む習慣づけを図りたい。 ☆中学校卒業後の見通しをもつことができるように系統的なキャリア教育を行い、将来の目標の設定と主体的に学ぶ態度の育成につなげていきたい。 ☆生徒が自発的で、定期的な学習を進める力を付けさせたい。それに向けて、地域や保護者の方の力を借りながら進めていきたい。	B ――	☆まのまるっと教室（補充教室）や寺子屋プロジェクト（地域連携）等の取組を継続的に推進していく。 ☆保護者と連携し、家庭学習の充実に向けて、方策を検討していく。
		保護者	学校は、宿題や課題などで、学習習慣を身につけさせ、家庭学習に取り組めるようにしている。								
		教職員	学習習慣を身につけさせ、家庭学習に取り組めるように、宿題や課題を適切に出している。								
	11 読書週間	生徒	学校で朝読書に取り組むことで、普段から読書をする習慣が身についている。。					B 生徒 【R5】2.95 ↓ 【R6】2.64	◆全国学力・学習状況調査（3年生）から、読書に日頃から親しんでいる生徒の数値が低いことが本校の課題であった。今年度も、年4回の朝読書週間を設け、各2週間ずつ取り組んだ。生徒アンケートでは、朝読書が本を読む習慣につながると回答した生徒は56%であった。（昨年同時期、67%）次年度は、読書に対する工夫した取組が必要である。 ◆学校司書と生徒会図書委員会が連携し、読書の大切な意義を伝える場面をつくることができた。また、図書室の環境が整備されたこともあり、昼休みに図書室を利用する生徒数は一日平均20名弱である。	B ――	☆読書週間や選書会を継続するとともに、家庭と連携して多くの本にふれることができるようにしてきたい。
		保護者									
		教職員									

令和６〔２０２４〕年度

学 校 評 価 書

大津市立真野中学校

項目			評価の観点 ※網掛けの項目は、大津市共通項目	市教委学校評価表との関連	アンケート データ 【左】① そう思う ② どちらかというとそう思う ③ どちらかというとそう思わない ④ そう思わない【右】 生徒	保護者	教職員	自己評価 評価	本年度の取組と分析	学校関係者評価 意見・提言等	今後の改善に向けて
地域に信頼される学校づくり	12 安全指導	生徒	学校で、交通ルールや緊急時の対応など生徒の安全面について、必要に応じて指導を受けている。					B 【R5】3.60 ↓ 【R6】3.40	◆自転車通学の生徒に対して、年度初めに自転車集会を行い、ルールやマナーについて指導を行っている。今年度は、11月からの道路交通法改正に伴い、3学期に1，2年生を対象に大津北署による交通安全教室を行い、自転車事故の未然防止につなげた。 ◆通学路上での登校指導や、一斉下校での下校指導により、登下校時の状況を把握し、必要に応じてタイムリーな指導につなげた。 ◆学校事故の未然防止に向けて、毎月の安全点検による施設管理や、養護教諭を中心に安全啓発に取り組んでいる。	B ――	☆「命を守る」指導の徹底をしていく。 ☆学校安全点検や安全啓発の徹底をしていく。
		保護者	学校は、生徒の安全対策や安全指導などにきちんと取り組んでいる。								
		教職員	生徒の安全対策や安全指導などに高い意識をもって取り組んでいる。								
	13 家庭生活	生徒	家庭で、日頃から学校や友人のこと、困っていることについて保護者とよく話をする。					B 保護者【R5】3.48 ↓ 【R6】3.30	◆4月に個別懇談会を実施し、新担任との関係を構築するとともに、学期末の懇談会を通じて、生徒の課題や今後の支援の方法について話し合う機会を持つことができ、連携を図れた。 ◆学校生活において気にかかる生徒については、積極的に保護者と連絡を取り、家庭訪問や来校により、直接対面して学校や家庭での様子について情報共有を行い、保護者の思いを受け止めながら信頼関係の構築に努めている。必要に応じてスクールカウンセラー等の専門家や関係機関につなぎ、保護者に寄り添いながら、本人への適切な支援につなげている。	B ――	―
		保護者	子どもとは、日頃から学校や友だちのこと、困っていることについてよく話をする。								
		教職員									
	14 情報提供	生徒	学校からの通信やたよりなどをきちんと保護者に渡している。					A 【R5】3.35 ↓ 【R6】3.45	◆ホームページによる情報提供を積極的に行い、生徒の日々の活動の様子や学習活動の成果の公開に努め、開かれた学校の実現を目指した。毎日200名を越える方に閲覧していただくことができた。 ☆学校だより、学年通信、学級通信等々、生徒、保護者向け通信を定期的に発行し、情報提供に努めている。また、同時に連絡配信アプリ(tetoru)を活用し、データ配信も進めている。今後も有効な情報提供源として、ホームページやtetoruを活用し、充実させたい。	A ――	☆情報発信・学校公開の推進をしていく。 ☆ tetoru（メール配信）・ホームページの積極的な運用を通して、保護者への確実な情報伝達の確立をする。
		保護者	学校は、通信やたよりなどで学校生活や進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。								
		教職員	学級、学年通信等で保護者に適切な連絡や、情報提供ができている。								
	15 保護者支援	生徒		家庭との連携				A 【R5】3.70 ↓ 【R6】3.80	◆学校生活の中で気にかかる生徒については、積極的に保護者に連絡を取り、情報共有、家庭連携を図っている。 ◆電話連絡のみならず必要に応じて家庭訪問を行ったり、学校へ来校してもらうなど、その都度適切な対応を心がけ、保護者とは綿密な関係づくりに努めている。 ◆1学期末・2学期末には個別懇談会を実施し、保護者との信頼関係を構築するとともに、生徒への適切な支援の仕方や課題について話し合う機会をもつことができた。	A ――	☆保護者との信頼関係の構築を大切にし、保護者と協力して生徒を育て、支えていきたい。
		保護者	**学校は、必要に応じて適切に保護者と連絡を取り合い、しっかり話をしている。**								
		教職員	**必要に応じて適切に保護者と連絡を取り合い、しっかり話をしている。**								
	16 PTA活動	生徒	地域の行事や活動にできるだけ参加、協力しようとしている。					B 【R5】2.85 ↓ 【R6】2.80	◆コロナ禍を経て日常が戻り、地域行事に生徒が参加する機会が増えた。真野北文化祭、真野文化祭には本校の吹奏楽部・美術部・4組が参加した。 ◆真野フェスタ「体育の部」にむけてグラウンドの草引きには、100名を超える生徒がのボランティアとして参加した。また、体育の部本番には、校区の保幼子ども園の園児を招待し、玉入れに参加し、交流をおこなった。 ☆「コミュニティスクール」と「まのまる夢プロジェクト」の取り組みを連携させ、生徒の地域社会への参画を進めることができるように検討していきいたい。	B 地域との交流を積極的にしてもらっている。子どもたちが地域行事に参加して、どのような感想をもったか知りたい。	☆生徒の地域活動・ボランティア活動への参加促進および、協力を支援していく。 ☆PTAの退会者が今後増えるのは避けられないが、学校と保護者、地域が連携して生徒を育てていきたい。
		保護者	地域の行事や活動、PTA活動にできるだけ参加、協力しようとしている。								
		教職員	地域の行事や活動、PTA活動にできるだけ参加、協力しようとしている。								

	ご意見	回答
1	11/22と11/25は給食があると献立表には書かれていたが、テストのため食べて帰ってきていないが、お知らせなどはあったのか、その分の給食費は引かれているのかが気になります。 執行部の子たちは給食があるそうですね。	給食については学年通信、学校だより、ホームページ等の月中行事で「ない日」は事前にお知らせしています。基本的に中体連の大会の日、午前中の定期テストの日は給食はありません。給食がない日は給食費は発生していません。生徒会は昼食持参で午後から生徒会リーダー研修会をおこないました。
2	PTAは廃止していただきたいです。 出欠確認はtetoruでできるようになれば有難いです。	ＰＴＡは任意団体ですが保護者と連携して子どもたちを支えるために大切な活動だと考えています。保護者が学校に足を運んでいただくことは社会に開かれた学校づくりのためにも大切だと思います。ＰＴＡ活動のあり方については継続して保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思います。
3	tetoruの欠席連絡不可を可にしてほしいです。学校運営に関連する取組継続を希望します。（長期必要性あると思いますので。）質問項目、見直すところは見直してほしいです。	いただいていた意見をもとに学校運営をよりよいものにしていきたいと思います。学校評価の質問項目は学校をよりよくするために経年変化を見ていますが、毎年、質問項目については確認し、必要であれば見直していきます。
4	tetoruによる欠席連絡について	tetoruによる欠席連絡についてですが電話連絡をしていただくことで具体的な欠席理由をお聞かせいただくことができ、保護者との信頼関係構築のために大切なことと考えています。
4	いつもありがとうございます。課題をこなすのに手一杯で、テスト勉強にまでなかなか手が回らないようです。だいぶ要領がつかめてきましたが。全教科、課題の内容を覚え理解していれば満点をとれるようにしてほしい。	課題についてはテスト前に集中しないように単元ごとに提出してもらう等の工夫をしていきます。課題を自分の力でやり遂げ理解していれば結果は自ずとついてくると思います。テストは知識理解だけではなく主体的に学ぶ態度や思考･判断･表現力も身につけてもらうために作成しています。
5	いつもお世話になり、ありがとうございます。毎日楽しく学校生活を送っている様子。先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。中学校生活も残り少なくなってまいりましたが、今後ともよろしくお願い申し上げます。	生徒が主体的に学び、学ぶ力を向上させることが大切だと考えています。いただいたご意見も参考にして授業づくりを進めていきたいと思います。評価についてはテストだけではなく、主体的に取り組む態度、思考･判断･表現力を授業の取組や成果物等も含めて総合的に評価しています。
6	お世話になります。私自身、専門家ではないので、生意気な事も言えないですし、難しい事かと思うのですが、英語の授業に関してですが、もっとたくさん英語を話したり聞いたり、時には楽しみの一つとして洋楽を聞かせてあげたり洋画を観たりする授業があってもいいのではないかな？と思います。受験があるので、どうしてもテストの点数だけで評価されがちかな？と思うのですがっ。 英語はコミニケーションのツールにすぎないので、子どもたちにはもっと楽しく英語を学	肯定的なご意見ありがとうございます。今後も「誰もが居心地のいい学校」になるように生徒ファーストの学校づくりを教職員力を合わせて取り組んでいきます。
7	教師のいじめ問題講習会など受けてほしい（キャプネスなど）	毎年、夏季休業中に講師をお招きして「いじめ防止研修」を必ず実施しています。研修の内容については生徒の状況に合わせて検討していきます。
8	クラスのうるささ、日常にある暴言や悪口は、当事者ではなくても心痛めている子がいることを忘れないでください。そういう状況で、先生が注意しないことがあると子供から聞いています。多感な時期故、難しい問題だと思いますが、まきこまれる子どもたちにもこの時期はとても大切です。うちの子はぎりぎりのところでがんばっています。少しでも改善され、学校生活が楽しいものであるよう	人権を守る、いじめを許さない学校づくりを進めるため授業妨害、悪ロ、暴言等は毅然とした態度で継続的に指導していきます。また、人権教育や道徳の授業においても、内面に訴えていきたいと思います。必要に応じてご家庭の協力をお願いします。
9	担任の奥村先生は、子どもたちの主体性をとても大切にされていることが伝わり、休んだ際の連絡のときにでも、子どもの学校での姿を話してくださり、とてもよく見ていただけていることが伝わり、安心して送り出せています。 他の先生方も丁寧に関わっていただけていることが娘から伝わり、感謝しかありません。	肯定的なご意見ありがとうございます。生徒の主体性を育てる教育活動を推進するとともに一人ひとりの生徒との関わりや保護者との信頼関係構築を大切にしていきます。
10	テトルなどで直接連絡いただけるのが大変ありがたいです。 ありがとうございます。	情報発信はとても大切だと認識しています。今後もホームページ、tetoru、学校だより等を効果的に使い、タイムリーに情報発信をしていきます。
11	登下校時、スマホを手に持って閲覧している子を多数見かけます。	日常的な指導を継続するとともに、部活停止の一斉下校時にパトロールを実施して現状把握と指導に力を入れていきます。
12	真野中学校は部活動がすくないので、中学の選択制の権利を利用して他の中学に進学してしまう子が多くて残念です。勉強に関しても、もう少し力を入れてほしいと思っています。テストの問題を難しくするとか、小テス	生徒数の減少と教職員数の減員で部活動の数を減らさざるを得ない状況がありました。部数こそ少ないですが充実した活動になるように最善を尽くしていきます。また、部活動以外で魅力のある学校づくりを進めていきたいと思います。テストについては学習した内容の理解を確認するために来年度も年間５回の定期テストを考えています。「知識・理解」「思考・判断・表現」「主体的に学ぶ態度」の観点にもとづいて学習した内容から出題しています。
24	部活動が少ない。部活動を地域へ移行する昨今の流れがあるが、地域のクラブチームなどの活動の場が近隣にはなく、部活動を残してほしいという保護者・生徒の希望とは逆行し	
13	悪天候の日にお迎えに行くと、校門前付近で路上駐車している保護者の方がいて迷惑だと思ったことが多々あります。 中まで入っても、駐車場の奥が空いていると気づかないのか、大きい車だと奥に入っていった時に止められなかった場合、出てくるのが大変だから奥まで入らない方もおられるようで、玄関前に停車する方もいてとても困りました。 先生方の車を奥に止めていただいて、手前に保護者が停車しておけるスペースを見えるよ	以前は校門前に路上駐車をされる送迎の車が多く事故の心配がありました。今年は学校内に車を入れていただいて感謝しております。保護者の駐車スペースについては安全面からも必要だと考えています。保護者の駐車スペースの確保については検討いたします。

	ご意見	回答
14	学区外の生徒は自転車通学をしてはいけないのですか？	大津市議会で教育長が答弁していますが学校選択制や就学指定変更で真野中学校を選択する場合は自転車通学は許可されていません。ご理解をお願いしま
15	学校のホームページが毎日更新されていて、子どもの様子が良く分かります。思春期に入り話すことを恥ずかしがる時間なので有難いなと思っています。また、毎日の下校時間や予定も詳しく記載して下さっているので、親子で予定を調整できて助かっています。 イベント、地域行事や部活など、先生方が休みを返上して子どもに寄り添って下さっていて大変感謝しています。 行事を参観させてもらい、真摯に一生懸命に仲間や先生方と行事に取り組んでいる姿が良く伝わり感動しました。 学校説明会でのお話どおり、生徒数は少なくなってきていますが、その分、先生と密に関わって頂けて真野中学を選択して良かったと思いました。 いつも、お忙しいなか、ご指導ありがとうございま	肯定的なご意見ありがとうございます。真野中生の様子や真野中学校の取組を知ってもらうため、ホームページにおいてタイムリーで心温かな内容を心がけています。働き方改革が叫ばれていますが生徒を育むために必要な部活指導、行事への参加はできる範囲でおこなっていきたいと思います。真野中学校は「誰もが居心地のいい学校～生徒ファーストの学校づくり～」をスローガンに一人ひとり生徒を大切にした教育活動を引き続き推進してまいります。 また、地域のみなさんと連携･協力しながら真野の子どもたちを育んでいきたいと思います。
22	中学校入学が不安でしたが、楽しく過ごしており安心しています。 ホームページも、ブログをこまめに更新してくださるので、家であまり学校の話をしてくれない子供の様子がわかってありがたいで	
23	定期的に通信を発刊して頂いており、ホームページなどでも学校の様子がよく分かります。 素敵な先生ばかりでとても安心して学校に通えています。 先生同志の関係が良く、地域連携も上手く取られていると感じます。 校長先生の生徒への愛情が保護者にも生徒にも伝わっています。休日の学区イベントにも	
16	学校通信は、子どもがあまり出さないので評価が十分にできません。すみません。	学校だよりはホームページにも掲載していますが、来年度からはtetoruでも配信するようにいたしま
17	手紙を出し忘れることがあるので…大切な手紙はお手数をおかけするのですが、tetoruでも連絡してほしいです。	わかりました。誌面でお配りする手紙もtetoruでも配信するようにいたします。
18	真野中学校にはPTAがありますが、これは強制加入ですか？ 強制でないなら入会するかしないかの意思表示が必要だと思います。 大津市からそのように指導がなされていると思いますが… 周りの中学は入会の意思表示を問うようになってきています。 そう意味で真野中学（PTA）は遅れていると思います。 意思表示を問うと退会希望者続出して大変なことになると思いますがしないといけない事だと思って言っています。 口で言うのは簡単だと思われるかもしれませんが頑張って下さい。	ＰＴＡは任意団体ですが保護者と連携して子どもたちを支えるために大切な活動だと考えています。保護者が学校に足を運んでいただくことは社会に開かれた学校づくりのためにも大切だと思います。ＰＴＡ活動のあり方については継続して保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思います。ＰＴＡの入会の意思は令和７年度から確認する方向で進めておられます。
19	先生にみつからなければよいと うまく隠れてルールを破ることに 気づいていないのは なぜ、そのルールが必要なのかを 理解して伝えることが 叶ってないかと思います 進路選択に関して 積極的な情報提供がない どんな選択肢があるか 研究することがあってもよい 塾ありきの指導が悲しい どんな部門が長けているか スペシャリティの提示が欲しい	ルールの大切さは日常的な指導、道徳での内面への働きかけ、保護者との連携をしながら継続的に指導していきます。進路選択については３学期に進路学習を予定しています。来年度は入試制度が大きく変わりますのでできるだけ情報提供をしていきたいと考えています。
20	体育祭が面白くない！午前中だけではバタバタと進み結局13時14時になり子供の写真すら撮れない！競技ももっと増やしてほしい！	真野フェスタ「体育の部」はそれまでの取組も含めて大切な教育活動だと考えています。生徒アンケートや生徒会の声を聞きながら生徒誰もが主体的に参加できる「体育の部」を考えていきたいと思いま
21	体育祭は、真野らしさを生かした子どもたちが楽しみにできて、自分らしく参加できるように考えて貰っていると感じている。玉入れや、綱引きなど単純であるが、練習量もいらない、分かりやすい、頑張りやすく、友達と共感できて、先生も必死で、(先生の熱さが嬉しい）この種目じたいを運動会などでしなくなっている今だからこそ、大切に取り組んで欲しい種目だと毎年感じている。 質問の最初にあった、いじめについての取組など、学校の取組が見えにくい部分は、ある。 しかし友達関係や、先生との関係の広がりなど子どもから受ける印象はよく、真野を選んでよかったと思っ	真野フェスタ「体育の部」への肯定的な意見ありがとうございます。私たちが考えている狙いが伝わりありがたいです。現状に甘んじることなく生徒の声を大切にしながら行事づくりを進めて参ります。学校の取組の「見える化」を進めて参ります。